

# 児童発達支援自己評価表

2020年1月集計

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		一人当たり十分なスペースを確保している。また活動に応じて児童が課題に向かいやすいよう工夫している。
	2. 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準は満たしているが、余裕があればなお良い。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		視覚支援を用いるなどし、利用児童が活動に応じた行動を自発的に取ることができるよう工夫している。
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		
業務改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		より改善が適切に図れるために多くの職員が関われるよう、工夫していきたい。
	6. 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、それを業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		
	7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行っているか。また、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やウェブサイト等で公開しているか。	<input type="radio"/>		
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	
	9. 職員の資質向上を図るため、研修の機会を確保しているか。	<input type="radio"/>		法人内、他団体主催の研修などに積極的に参加している。
適切な支援の提供	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析。そのうえで、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		
	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	<input type="radio"/>		
	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択されているか。またそのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		具体的な計画（目標）を元に個別課題の作成や集団活動の設定をしている。
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		プログラムの改善点などの検討を行い、実施している。
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		
	17. 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	<input type="radio"/>		
	18. 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		
	19. 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援の記録を保存し、振り返りを行っている。
	20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画のみなおしの必要性を判断しているか。	<input type="radio"/>		

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		
	22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		
	23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。			
	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。			
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者を通じ、場合によっては保護者等と直接支援内容等の情報共有を行っている。
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	27. 児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	○		
	29. (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか。	○		
	31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	○		
保護者への説明責任等	32. 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○		クリスマス会など、親子で参加できる場を設け、保護者会を行っている。
	36. 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を準備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか。	○		
	38. 個人情報に十分注意しているか。	○		プライバシーマーク取得済み。
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。また、それらの発生を想定した訓練を実施しているか。	○		火災、地震、洪水などを想定して訓練を実施している。
	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	○		
	43. 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	/		食物アレルギー児の利用なし。
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
	47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか。	○		組織的にやむを得ず、身体拘束を行う場合を決定し、共有している。